

# ああどうしようの スズメさん

メリル・ドウニー文 ウィリアム・ゲルダート絵 嶋名 啓訳



# ああどうしようの スズメさん

マリム・ドウニー文 ウィリアム・ゲルダート画 堀名 祥訳



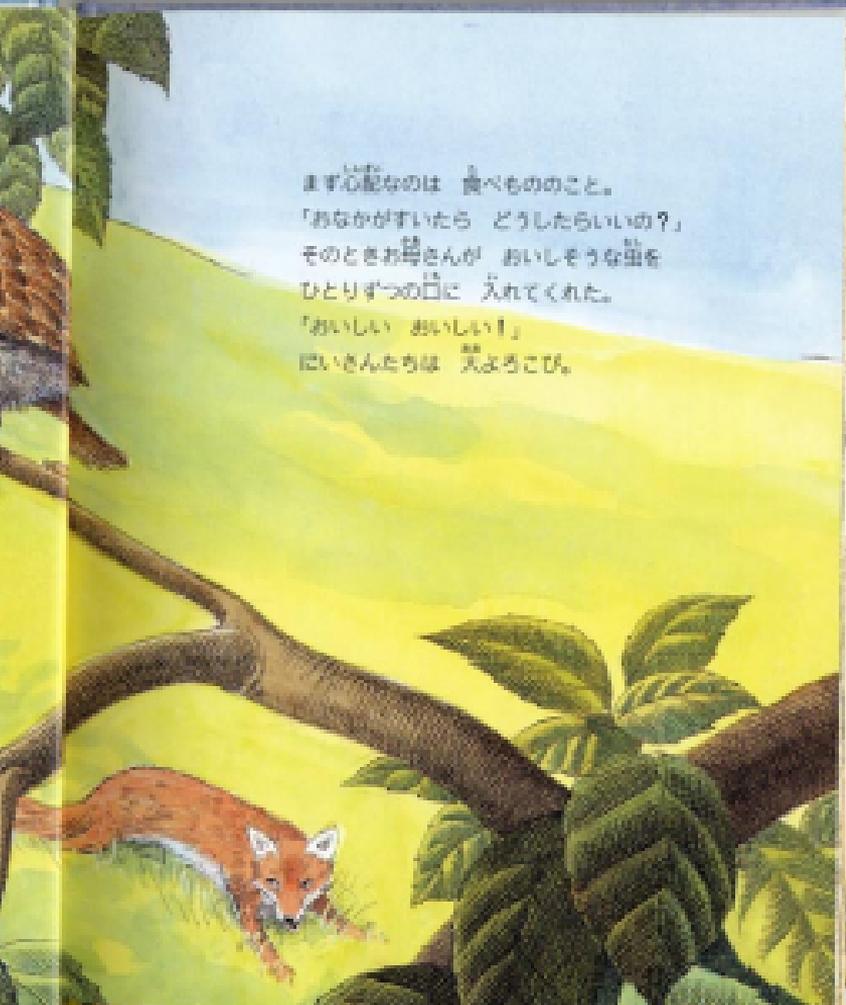
女子のついで



とっても心配性の スズメがいた。  
にいさんたちは 空をみあげて  
うれしそうに チュン チュン うたっているのに  
このスズメは うかないかれ。  
「ピー ピー ああどうしよう！」



まず心配なのは 食べもののこと。  
「おなかがいっぱいなら どうしたらいいの？」  
そのときお母さんが おいしそうな虫を  
ひとりずつの口に 入れてくれた。  
「おいしい おいしい！」  
にいさんたちは 又よろこび。





つぎに<sup>お母さん</sup>お母さんは とぶこと。

「さあ とぶれんしやうを はじめるよ!」と お父さん。

「ワ—イ! うれしいなあ!」 みんなは天よるこび。

「さあ いくよ!」

でもお母さんのススメは「できないよう こわいよう」と  
なくばかり。



お父さんとお母さんは さっさと<sup>お母さん</sup>お母さんのほうに とんでいった。

「さあ やってごらん! みんなとべるよ! いち にの さん!」

「ワ—イ とべたよ たのしいなあ!」

でもお母さんのススメは 枝にしがみつゝ、ぶるぶるふるえて  
よろけて おちそうになって……たすけて—!

あ? 「とんでる やった—! ワ—イ!」



星がきた。

おいしい虫をたくさん食べられるというのは  
小さなスズメは まだおぼろばかり。  
「虫の甲斐って なんてもいんだらう。こわいことばかりだ。」  
白がしずむころ お父さんが ふしぎな星をしてくれた。

むかしむかしの おおむかし。  
天のお父さまが 世界じゅうを おつくりになったこと。  
二目がどういうふうにはじまるのか、星がどこから飛んでくるのか。  
そして 天のお父さまは、どんなに小さくても ひとりひとりを  
たいせつに して下さることも。

にいさんたちは 白を見はってきている。  
でも小さなスズメは 外のくらやみばかり見て ふるえていた。



Вот зайцы, вот куропатки,  
доставляя радость  
детям своим, что в  
этом замечательном  
и красивом мире живут.



кай, элбидеит дэбэрэһэтиги,  
Бэбэрэһэ сүтэ,  
Бэллэһэни Тэһэлэһэни  
эбэһэ Тэһэлэһэни,  
Бэбэрэһэ, тэһэ  
дэ-дэ-дэһэһэһэ, дэ-дэһэ,  
Тэһэлэһэ, тэһэлэһэ тэһэлэһэ  
эбэһэһэ сүтэ,  
дэһэ тэһэлэһэ  
тэһэ дэһэ,  
тэһэ-сүтэ  
дэ дэһэ дэһэлэһэ,

